

# 宮城県林業普及活動情報

2012. 5 月号 No.48

平成23年3月11日の東日本大震災で  
被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

## もくじ

### 各地の林業普及活動情報

P 2 ~ 9

- |                               |              |
|-------------------------------|--------------|
| 「間伐の推進に向けた取り組み」               | (大河原地方振興事務所) |
| 「松くい虫防除事業の円滑な実施に向けて！」         | (仙台地方振興事務所)  |
| 「せんだい「森の教室」サポートバンク」を創設！」      | (仙台地方振興事務所)  |
| 「復興公営住宅に県産材を！」                | (仙台地方振興事務所)  |
| 「鬼首山の子探検隊への活動支援」              | (北部地方振興事務所)  |
| 「職場内木づかい運動をPR」                | (北部地方振興事務所)  |
| 「東電による損害賠償説明会を開催」             | (北部地方振興事務所)  |
| 「地球温暖化と森林のはたらき」               | (北部地方振興事務所)  |
| 「林地被害の発生に伴う調査を実施」             | (北部地方振興事務所)  |
| 「女性林研グループ「めぐ実の森くりはら」の総会で情報提供」 | (栗原地域事務所)    |
| 「間伐による効率的な素材生産を可能にする路網整備の検討」  | (東部地方振興事務所)  |
| 「米川活性化・植林活動と山菜狩り」             | (登米地域事務所)    |
| 「登米市 市民参加の森づくり」               | (登米地域事務所)    |
| 「国産針葉樹合板販促打ち合わせ！」             | (登米地域事務所)    |
| 「南三陸町で木造災害公営住宅の建設が決定」         | (気仙沼地方振興事務所) |
| 「林業教室の開催」                     | (林業技術総合センター) |

## 「間伐の推進に向けた取り組み」

大河原地方振興事務所

丸森町森林組合から、町内の要間伐林の間伐手法等について、指導依頼があったことから、現地指導を行うとともに間伐計画を、山林所有者へ提案しました。

県、森林組合職員が現地調査を実施した結果、当該林分は搬出可能区域と、切り捨て区域に分別され、作業道は幹線的な単線道路のみが設置されている状況に留まっていました。

このため、搬出間伐、切り捨て間伐のゾーニングを行い、間伐（国庫補助）や作業道開設（県単補助）に適応した補助事業を現地で検討し、その場で簡易的な収益を試算しました。

森林所有者に間伐プランと補助事業を用いた場合の収益試算値を提示し、間伐の理解を得ることができました。

連携機関：丸森町森林組合



森林組合職員等と現地調査（ゾーニング状況）



間伐計画，収益の試算を森林所有者へ提示

## 「松くい虫防除事業の円滑な実施に向けて！」

～【関係者機関への個別説明】～

仙台地方振興事務所

5月29日、31日の2日間にわたり、今年度を実施する松くい虫防除事業について、関係する市町、各漁業協同組合、県港湾事務所等に赴き、特に地上散布の実施時期や被害木のヘリコプター搬出方法等について説明を行い、理解と協力を得ることが出来ました。

昨年度は震災の影響によって、やむなく事業区域を縮小したことから、被害の拡大が懸念されますが、関係機関の協力のもとで、感染源の徹底駆除と生立木の保護に努めてまいります。



【事業区域の現地確認】

### 「せんだい「森の教室」サポートバンクを創設」

～【小学校等への森林・林業教育の支援体制づくり】～  
仙台地方振興事務所

管内の森林・林業教育を推進するため、指導者の派遣や、カリキュラムの設定など一連の支援体制となる「せんだい「森の教室」サポートバンク」を創設しました。

その第一弾として、5月30日(水)、仙台市立上愛子小学校6年生(20名)を対象に「里山林と生活との関わり」をテーマとした体験学習を行いました。サポートバンク登録の県インストラクター協会からインストラクターの派遣を受け、炭の利用方法や、コナラの伐採・玉切り体験を通じて「地域の森を地域で利用し守り続ける」ことなどを深く学習できたようです。



【伐採体験をする児童生徒】

### 「復興公営住宅に県産材を！」

～【県産材の復興需要を盛り上げる】～  
仙台地方振興事務所

震災により、甚大な被害を受けた沿岸自治体では、復興計画が策定され、その中で復興公営住宅の整備が計画されています。

公営住宅へ県産材の利用を促進するため、5月17日(木)に林業・設計関係団体とともに、各市町関係課に対して県産材利用を働きかけました。

具体的な計画は未定の自治体もありましたが、県産材を利用する意義や地域の活性化について、一定の理解を得ることができました。



【巨理町との打合せ】

### 「鬼首山の子探検隊への活動支援」

～活動始動！第1回目は春の野草を食べてみよう～

北部地方振興事務所

5月26日（土）に、大崎市鳴子鬼首地区公民館主催による「鬼首山の子探検隊」の第1回目の活動がスタートし、「春の野草を食べてみよう」と題して、学習の森等を会場に行われました。

当日は、地元の小学生1年生から6年生まで児童15名の参加があり、「ヒノキ特製名札作り」、「桜の植樹作業」、「山菜調理」など体験作業を主体にした学習を支援しました。

今後、探検隊の活動は来年3月まで、延べ11回が行われる予定です。



桜の花が咲くのが楽しみ！大きくなれよぉ～

### 「職場内木づかい運動をPR」

～花と木のある職場ってステキですね～

北部地方振興事務所

5月11日（金）に、みやぎの木づかい運動の一環として、昨年度、地元花卉生産者の協力を受け農林連携の取組みとして、商品開発した「木製専用ハンギングフラワースタンド」を合庁1階ロビー内（受付脇）に展示し、職員はもとより来庁者に対し、木の温もり・木の優しさをPRを行いました。

なお、ハンギングフラワーは、3ヶ月間の常設展示を行います。



間伐材を利用したハンギングフラワーの展示

## 「東電による損害賠償説明会を開催」

～ 早期再開を目指して～

北部地方振興事務所

5月25日（金）に大崎市のパレット大崎において、生産者、直売所担当者約40名が参加し、今年度第2回目の東京電力による放射能汚染賠償説明会を開催しました。

重い空気の中、県から放射能のモニタリング調査協力へのお礼を申し上げ、汚染被害状況を説明したのち、東京電力株式会社による損害賠償請求について説明が行われました。

東電の説明に続き、損害賠償請求の考え方や賠償手続きの具体的な進め方など、生産者や直売所側がもっている疑問点について、質疑応答が行われました。

山菜については、まだ不明瞭な部分も多い状況ですが、生産者側では損害賠償請求の仕方などだいぶ理解を深めることができたようでした。

この会議の数日後、生産者の栽培現場に東電が訪問し、請求手続きにこれから入るなどといった情報を得ています。



緊張した雰囲気の間

## 「地球温暖化と森林のはたらき」

～ 森とぼくらのハーモニー～

北部地方振興事務所

5月23日（水）に中新田小学校5年生の総合学習で森林の働きと地球温暖化、校庭の樹木の見分け方、木材の見分け方について解説しました。

今回は、6月に植林体験を行うことから、林業と地球温暖化防止の話を織り交ぜて解説しました。

今後、子供たちが地域の森林・林業に目を向け、地球環境について考えるきっかけとなるよう期待しています。



へエー 地球と森林の関係かあ



樹木と木材を五感で見分ける

「林地被害の発生に伴う調査を実施」  
～豊かな森林づくりに結びつく復旧を目指して～

北部地方振興事務所

5月17日(木)に、森林所有者から寄せられた林地崩壊及び風倒被害情報箇所について、現地調査を行いました。

被害の状況は、表層崩壊及びそれに伴う倒伏や暴風による折損、根返り等が約1.2haの区域内で確認されました。

森林所有者からは、「森林に復旧したい。法面への高木植栽が無理だとしても緑化を行うことにより将来的に山に戻したい。」「更なる林地崩壊の拡大を防ぎたい。」という意見がありました。

今後、治山事業等の実施も踏まえて森林所有者の意向に沿った形で支援を進めていきたいと考えております。



表層崩壊によりむき出しとなった林地



適正管理された森林も自然災害には...

女性林研グループ「めぐ実の森くりはら」の総会で情報提供

北部地方振興事務所 栗原地域事務所

女性林業研究グループである「めぐ実の森くりはら」の総会が5月28日に国立花山青少年自然の家で開催され「県内の特用林産物の放射能汚染の状況と対応」及び「他県の女性林研グループ等の活動状況」について情報提供を行いました。

放射能汚染の話題では、特用林産物のみならず、食品全般の汚染状況さらには森林の除染等にまで議論がおよび、改めて林業に携わる女性の放射能問題への関心の高さがうかがえました。また、林研の活動として今年度は他団体との交流や視察研修をとの意見もあり、今後の活動が活発になるよう支援してまいります。



総会の様子

## 「間伐による効率的な素材生産を可能にする路網整備の検討」

～ 施業の基盤となる路網整備～

東部地方振興事務所

素材生産を目的とした間伐を効率的に実施するため、施業林分の集約化と生産の基盤となる作業道開設について、複数の候補林分を平行して事業計画を検討しています。

なかでも、施業の基盤となる作業路網整備について重点的に検討を行うこととし、地区内にモデル的な施業団地を設定し、現場オペレーターを取り込んだ技術指導を行い、路網整備に対する意識の向上を目指しています。



作業道の開設を待つ間伐対象林分

## 「米川活性化・植林活動と山菜狩り」

東部地方振興事務所登米地域事務所

5月19日(土)米川活性化サポート会議(県・登米市・米川生産森林組合)が主催する「植林活動と山菜狩りイベント」体験交流会が東和町米川で開催され、県民76人が参加しました。

当日はキハダの植栽とともに、「山の働き」をテーマにしたミニ勉強会や山菜狩り体験も行なわれました。

今回の植樹イベントや山菜狩り体験交流は参加者の反応も上々なため、「地域に根付いたイベント」として、今後も米川生産森林組合等地域の各関係者との連携を図り続けていきます。



カー杯穴を掘りました



森の働きについて熱心に聞き入る参加者

## 「登米市 市民参加の森づくり」

東部地方振興事務所 登米地域事務所

5月27日、一般県民を対象に登米市と県の共催による植樹イベント、「市民参加の森づくり」に登米市津山町横山の登米市有林内にて開催しました。

当日の参加者93名は、コナラのほか、ヤマザクラやクヌギなどの4種類の広葉樹900本余りを植栽しました。また、今年度から「私の記念植樹」も併せて行われ、初孫誕生の喜びなど、それぞれの記念を標柱にしました。

今回で6年目を迎える行事ですが、定番の行事として地元に着定しており、秋にも県・市の共催による植樹イベントを実施する予定です。



急な斜面で植林する参加者



無事植林を終え記念撮影

## 国産針葉樹合板販促打ち合わせ！

東部地方振興事務所 登米地域事務所

5月30日、西北プライウッド(株)と(株)シエルターでは、国産針葉樹合板が県グリーン製品に認定されたことから、製品のPRに事務所を訪れました。

事務所では、グリーン製品の活用がカーボンオフセットに資するよう、また、マーケットリネージの早期回復の視点から、森林土木担当者も交え、森林土木事業で率先利用するための検討を行うことを約し、市や建築・土木関係者に説明会・見学会等の機会を得て周知する方法について打ち合わせを行いました。



アイデア検討中



## 南三陸町で木造災害公営住宅の建設が決定

気仙沼地方振興事務所農林振興部

東日本大震災で住居を失った県民の方々が安心して生活できる基盤を確保するため、各被災地で災害公営住宅の建設が計画されています。

南三陸町は、地元産業の復興や雇用の拡大を併せて図るため、南三陸町木造災害公営住宅建設推進協議会と木造住宅の供給に係る基本協定を締結しました。

協議会は南三陸町やその周辺の素材生産業者・製材業者・建築関連業者等が連携して設立したものです。

協議会が南三陸町産材を活用して住宅を建設し町が買い取る方式で、木造に特化した災害公営住宅供給の協定は県内で初めての試みです。



協議会会長と町長による調印

## 「林業教室」の開催

林業技術総合センター 普及指導チーム

【5月16,17,23,24日】

森林・林業に携わる事業者職員等を対象とし、林業の基礎知識・技術の習得を図り、人材を育成する林業教室を開講し、「林業の基礎知識等」「森林調査」「林業機械操作」「間伐実践」の第4回までの講座を実施しました。

受講生は、コンパス測量やチェーンソーによる玉切、間伐のための森林調査など、初めて体験する作業に戸惑いながらも真剣に取り組みました。

林業教室は、選択講座を含む10講座を10月まで実施して参ります。



チェーンソーによる玉切体験